

会報第30号発刊に寄せて

副会長 K.M.



会の活動の集大成である山行記録をお届けします。山行のプランリーダー、参加者、山行を支えたスタッフ、感想文を寄稿してくれた人、関係者皆さんの協力のおかげであり、まとめ作業に携わった広報の皆さんのご努力の賜物です。深く感謝する次第です。

さて、2020年2月15日私は菩提寺山に登り、へそ清水経由で下山しました。白玉の滝入口を過ぎ、イーリスガルテンを超えた右奥の林で何やらギャーともワーとも言えぬ騒がしい声が聞こえたのです。カラスの大群でも騒いでいるのかなと思いながら歩いているとなんとオタマジャクシから孵ったばかりのカエルの大群が田んぼをはね、道路をぴょんぴょん、水路をスイスイ泳いでいたのです。あまりにもびっくりして写真を撮ることすら思いませんでした。あの年は暖冬で1月から菩提寺山を歩いたのですが、2月15日は2回目でした。で、一週間後に同じコースを歩いたのですがその日は寒い日でした。カエルがいたら今度こそ写真をとったのですが、全く姿はありませんでした。摩訶不思議なこともあるものですね。1月下旬の中国の春節休みで東京に来た旅行者からコロナ感染者が見つかり、2月29日に新潟県で初めての感染者が出たのです。秋葉区へ帰省してきた東京からの人でした。何とカエルの大群に出会ってから2週間後のことです。

コロナ禍が来襲して3年が経過しましたが残念ながら収束の気配はまだと言っていいでしょう。当クラブも大きな制約を受けながらの活動を強いられています。遠くへは行かない、バスは片道2時間以内の範囲とする。宿泊を伴う山行の場合は山小屋利用はやめる（密をさける）。などなどです。従って山に登る人なら誰もが憧れる有名な高山、名山への企画が立てにくいことになってしまっています。もう少し我慢が必要なのでしょうか。

2020年から新たに始めたことがあります。「新入会員歓迎登山&研修会」です。私が入会したころ300名規模の会でしたが昨今は140名台まで減ってきています。会長が作成してくれた資料の中で面白いことを見つけたのです。入会はしたものの1回も参加せずに翌年には辞めている人が実に多かったのです。そこで私自身の若いころの経験を踏まえ「新入会員歓迎登山&研修会」を企画したのです。山行後の研修会で強調したのは「1回も参加せずに辞める」ことだけは止して下さい。せめて「1回ないし2回」は参加してみてください。それでも辞めるなら致し方ないです。山歩きがしたくて入会してくれた方への動機づけになればいいなという発想です。

昨年の総会は予約していた会場が「ワクチン接種会場」になってしまい利用出来るのは裏口通路の一部と裏側駐車場のみとなりました。会場が利用できないことの会員への連絡方法はなく、急遽の策として新規入会は裏口通路で、継続会員は駐車場に並べた幹事のマイカーの中で受けつける対応としました。幹事全員が一体どれくらい減ってしまうだろうかと危惧しましたが、あにはからんやほぼ前年の水準を確保しました。皆胸をなでおろしました。私達山を歩く人達は同年配の方々と比較すると随分若く見えるのではないかと思います。大いに山を歩き、山に学び、健康寿命を全うしようではありませんか。